

今月の「輸入再開」

2月11日、専門家会議がアメリカ産牛の年齢確認方法を承認しました。枝肉の軟骨部分のピンク色の度合いで20ヶ月齢未満かどうかを見分けるそうです。すごい技術ですね。僕には、こんな個体差を無視したようなやり方はとうていできっこありません。すごいです。とにかく輸入再開させないと、首相やブッシュさんに怒られるんでしょう。

輸入ストップ以来、裾ものの値段が上がって、枝重があれば経営に有利でしたが、輸入再開後は、やはり肉質も上げていかなければ、裾ものの値段は当面下落すると思われます。輸入再開が、牛肉全体の消費に影響を与えないか心配ですが、この国の消費者の皆さんは、もう狂牛病に飽きてるみたいだし、大丈夫かな。

